

菊川市公共施設個別施設計画 (案)

改訂 令和 8 年 ○ 月

策定 平成 31 年 3 月

菊川市

目 次

第1章 公共施設個別施設計画の概要	1
1 背景と目的	1
2 計画の位置づけ	1
3 個別施設計画以外の個別計画の策定状況（令和7年3月末時点）	2
4 施設の築年別整備状況	2
5 菊川市公共施設個別施設計画における取組みの優先順位	3
6 劣化度調査と長寿命化改修の優先度	3
第2章 公共施設個別施設計画の策定に向けた方針等	4
1 計画期間及び見直し	4
(1) 計画期間	4
(2) 見直し及び関連計画との整合	4
2 対象施設（令和7年3月末時点）	4
3 今後の維持・更新コストの把握	5
(1) ライフサイクルコストの算定根拠と平準化	5
(2) ライフサイクルコスト計算における長寿命化	5
(3) 目標耐用年数とライフサイクルコスト算基準の設定	7
(4) 単価・周期の設定	7
4 個別施設計画の継続的運用方針	8
(1) 推進体制等の整備	8
(2) 個別施設計画の進捗管理について	8
第3章 施設類型別の個別施設計画	9
1 個別施設計画による効果額の算定	9
(1) 今後の8年間の効果額	9
(2) 30年間の年度別コストの推移	10
2 施設の配置状況	11
3 施設整備の水準等	14
4 施設類型別の計画内容	14
(1) 行政系施設	15
(2) コミュニティ施設	17
(3) 文化系施設	19
(4) 社会教育系施設	21
(5) スポーツ・レクリエーション系施設	22
(6) 教育・保育系施設	24
(7) 子育て支援施設	30
(8) 福祉系施設	32
(9) 下水処理施設	34
(10) ごみ処理施設	35
(11) その他施設	36
医療系施設	45
上下水道施設	46

第1章 公共施設個別施設計画の概要

1 背景と目的

本市では、今後の人口減少や少子高齢化による行政サービスの需要変化や厳しい財政見通しなどを踏まえ、公共施設等の更新等に係る費用の確保が課題となっています。

国では、「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）を策定し、インフラの戦略的な維持管理・更新等を推進すると共に、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（平成26年4月）により、各地方公共団体に対して、公共施設等総合管理計画の策定を要請しました。

そのため、公共施設等の更新、統廃合及び長寿命化等の施策を長期的な視点で計画的に行い、更新等に係る費用の平準化や行政サービス水準を確保するため、菊川市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）を平成29年3月に策定し、令和8年3月には第3次総合計画に合わせて総合管理計画を改訂しました。

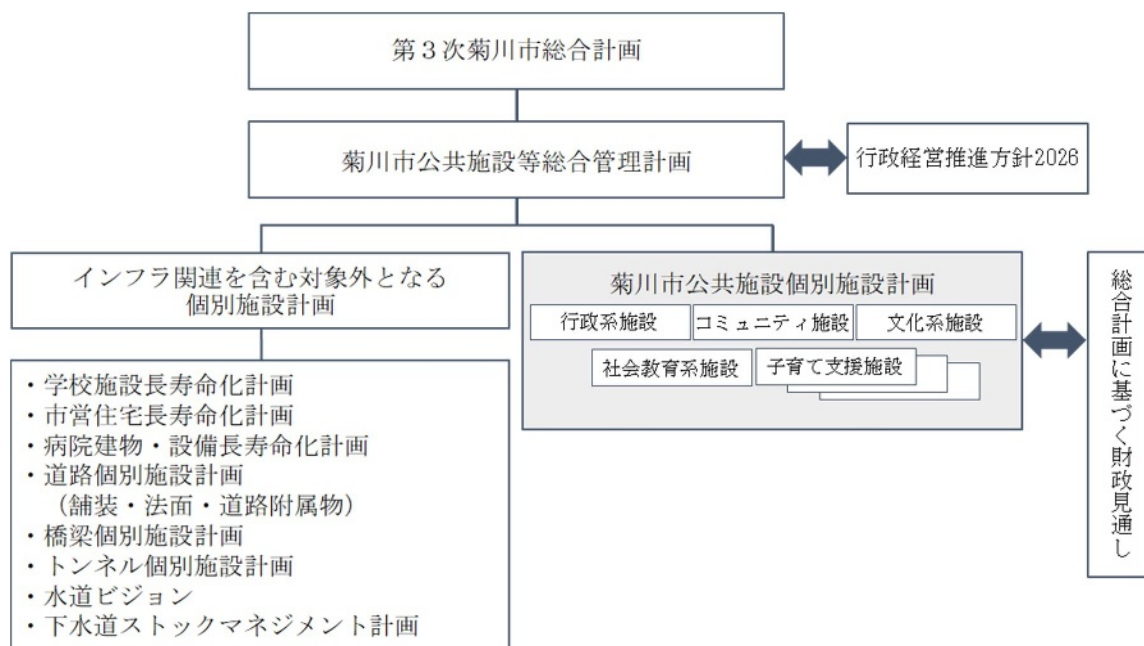
菊川市公共施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）は、総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対策内容と実施時期等を定め、公共施設の修繕や更新等を計画的に実施し、費用の縮減や財政負担の軽減につなげることを目的とします。

今後は、個別施設計画を予算編成などにも活用することで、公共施設等の更新等に係る費用の平準化を図っていきます。

2 計画の位置づけ

個別施設計画は第3次菊川市総合計画（以下、「総合計画」という。）及び総合管理計画を上位計画として、行政経営推進方針2026等の各種計画との連携を図ります。

また、個別施設計画で行う事業は総合計画に基づき策定された第3次菊川市総合計画に基づく財政見通し（以下、「財政見通し」という。）の事業を反映しています。



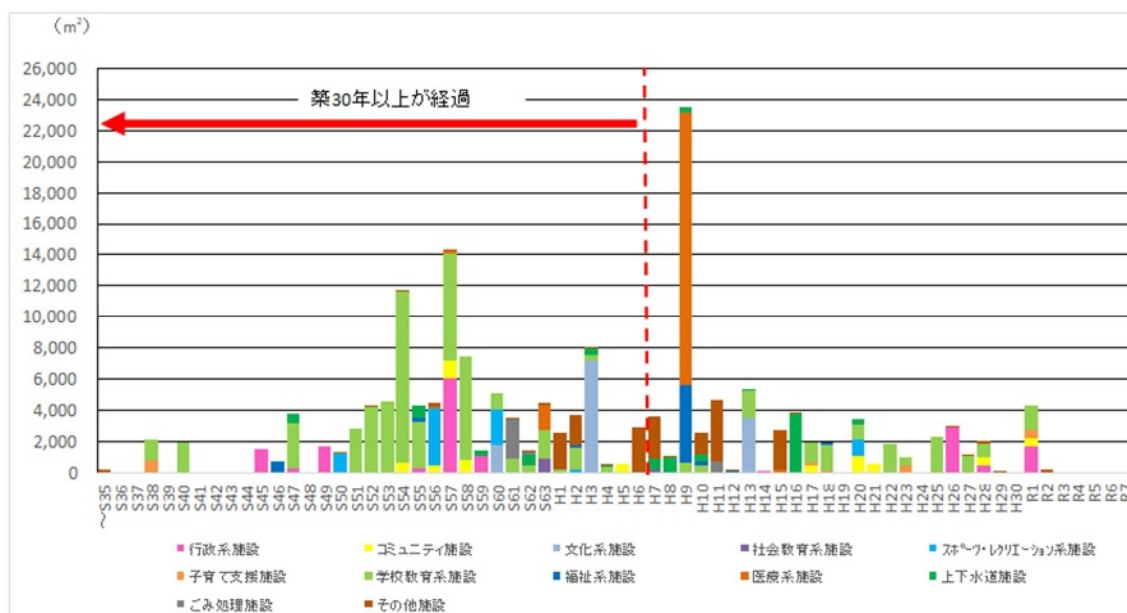
3 個別施設計画以外の個別計画の策定状況（令和7年3月末時点）

本個別施設計画以外で別途策定する公共施設やインフラの個別計画等の策定状況や本個別施設計画での扱いは以下となります。

類型	名称	状況	本個別施設計画の扱い
小中学校	学校施設長寿命化計画	策定済	効果額算定に含める
市営住宅	市営住宅長寿命化計画	策定済	効果額算定に含める
病院	病院建物・設備長寿命化計画	策定済	含めない
道路	舗装個別施設計画	策定済	含めない
	法面個別施設計画	策定済	含めない
	道路附属物個別施設計画	策定済	含めない
橋梁	橋梁個別施設計画	策定済	含めない
トンネル	トンネル個別施設計画	策定済	含めない
上水道	菊川市水道事業ビジョン	策定済	含めない
下水道	菊川市下水道ストックマネジメント計画	策定済	含めない
公園	（仮称）菊川市都市公園等の維持管理計画	策定中	含めない

4 施設の築年別整備状況

本市の公共建築物は、昭和51年（1976(S51)）から平成6年（1994(H6)）に多く整備されており、現在保有している施設のうち、延床面積ベースで約50%がこの時期に集中して整備されています。



出所「菊川市公共施設等総合管理計画」（令和8年3月改訂）

5 菊川市公共施設個別施設計画における取組みの優先順位

公共施設の最適化や、縮減目標の達成に向け、以下の優先度で取り組みます。

	方向性	施設分類
優先度 1	総合管理計画期間に物理的耐用年数を迎え、老朽化が著しい施設は、更新時に施設の複合化や統合を検討します。	学校教育系施設：小中学校 コミュニティ施設：地区センター スポーツ系施設：体育館
優先度 2	市内で広域的に利用される施設は、利用状況や役割を分析し、効率的なサービスを提供できるよう配置と規模の最適化を図ります。	行政系施設：庁舎施設、消防施設 その他庁舎施設 文化施設：図書館、文化会館
優先度 3	利用状況やコスト状況などから機能見直しも含め、配置と規模の最適化を図ります。	該当施設

6 劣化度調査と長寿命化改修の優先度

鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリートの建物で長寿命化を行う施設は、建築後 40 年程度を目安に劣化度調査を実施し、長寿命化の可能性を判断します。長寿命化が可能であり、改修が必要と判断される場合には、長寿命化改修工事を計画します。

その他の施設は、予防保全の観点から標準的な修繕・更新を計画的に行い、建物の修繕等の費用の平準化とライフサイクルコストの縮減に繋がります。

第2章 個別施設計画の策定に向けた方針等

1 計画期間及び見直し

(1) 計画期間

総合管理計画の計画期間である令和28年度（2046年度）までとします。

(2) 見直し及び関連計画との整合

個別施設計画の見直しは、総合管理計画の改訂に合わせて行います。

ただし、対象とする施設の状況や市民ニーズの変化、社会経済情勢の変化等により、必要があれば全面改訂を行います。

また、個別施設計画は、上位計画等との整合を図るため、整備・維持・修繕計画については、毎年度更新を実施します。

2 対象施設（令和7年3月末時点）

普通会計の建築物で「固定資産台帳」に名称が記載されているものを対象にしています。

	大分類	延床面積 (㎡)	中分類	施設数
1	行政系施設	15,787	庁舎施設	4
			その他庁舎施設	2
			消防施設	1
2	コミュニティ施設	6,470	コミュニティ施設	13
3	文化系施設	12,429	文化施設	2
			図書館	2
4	社会教育系施設	1,158	社会教育系施設	2
5	スポーツ・レクリエーション系施設	8,361	体育館	3
			観光施設	1
6	教育・保育系施設	66,547	小学校	9
			中学校	3
			給食センター	1
			認定こども園	2
7	子育て支援施設	1,893	児童館	1
			放課後児童クラブ	4
8	福祉系施設	5,982	総合福祉施設	3
			高齢者福祉施設	3
9	下水処理施設	1,519	コミュニティプラント施設	2
10	ごみ処理施設	3,319	環境保全センター	1
11	その他施設	19,792	市営住宅	3
			水防倉庫	6
			消防団蔵置所	17
			その他	13
		143,257		98

3 今後の維持・更新コストの把握

(1) ライフサイクルコストの算定根拠と平準化

各施設のライフサイクルコストにおける、計画期間のコストは、平成 29 年度から令和 6 年度は各施設の実績、令和 7 年度以降は推計値によるものです。

また、建替え（更新）や大規模改修等で工事規模が大きいものは、単年度に負担が集中しないように、工事期間を複数年度に分けて設定しています。

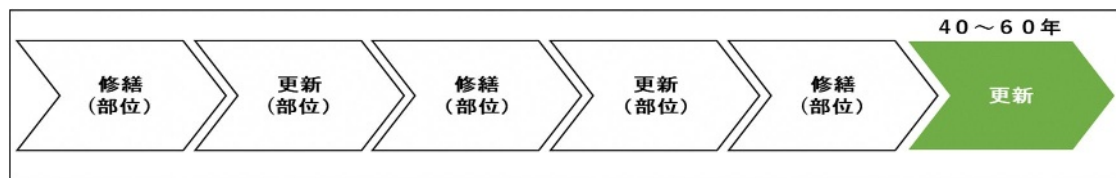
(2) ライフサイクルコスト計算における長寿命化

次のア、イの方法により、ライフサイクルコストの縮減や長寿命化を図ります。

ア 計画的な修繕と更新による長寿命化

建物の部位（屋根・外部）や主要な設備（受変電、通信・情報、空調、給排水衛生、消火）の計画的な修繕や更新により、ライフサイクルコストの縮減や長寿命化を図ります。

本長寿命化の対象は、建物構造が鉄骨（S）、ブロック、軽量鉄骨（LS）、木造（W造）の建築物、及び将来的に大規模な改修が見込まれない小規模施設です。



イ 長寿命化改修工事による長寿命化

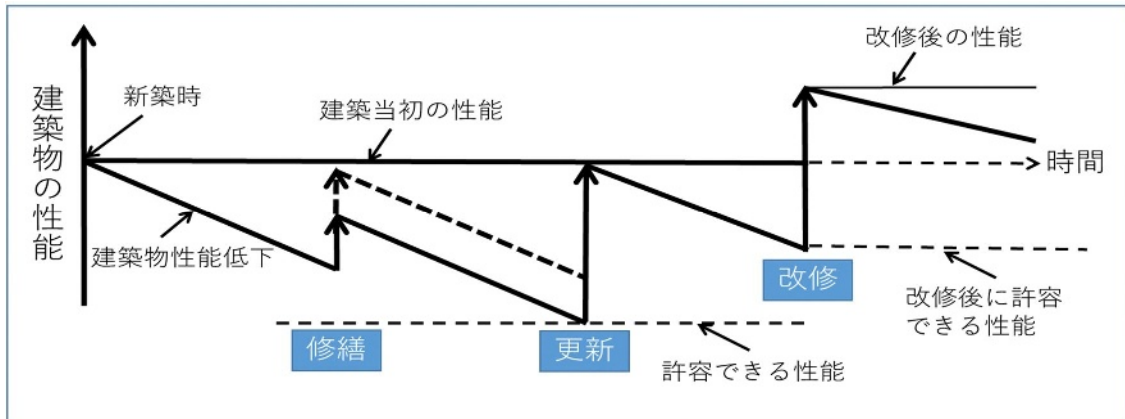
建築後 40 年程度を目途に建物劣化度調査を行い、長寿命化の可能性や長寿命化改修工事の必要性を判断し、必要な場合には、長寿命化改修工事を計画します。

本長寿命化の対象は、建物構造が鉄筋コンクリート（RC）、鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）の建物で総合管理計画の対象とする施設です。



ウ 修繕・更新・改修の定義

ライフサイクルコストにおける修繕・更新・改修の定義は、公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針（平成 30 年 2 月 27 日：総務省）の別紙に基づき、以下の定義とします。



出所「建築物のライフサイクルコスト」（令和 5 年版：国土交通省）を一部加工

「修繕」

施設、設備、構造物等の機能の維持のために必要となる点検・調査、補修、修繕などをいう。なお、補修、修繕については、補修、修繕を行った後の効用が当初の効用を上回らないものをいう。

「更新」

老朽化等に伴い機能が低下した施設、設備等を建替え（取り替え）、同程度の機能に再整備すること。個別施設計画における「更新等」の場合には、除却も含む。

「改修」

公共施設等を直すこと。改修を行った後の効用が当初の効用を上回るものをいう。例えば、耐震改修、長寿命化改修など。転用も含む。

(3) 目標耐用年数とライフサイクルコスト算定基準の設定

個別施設計画の目標耐用年数（建物更新までの期間）は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考に、以下のように設定します。

ライフサイクルコストの把握による計画的な修繕や改修等により、建物構造が鉄筋コンクリート（RC）、及び鉄骨鉄筋コンクリート（SRC）の建物は、（2）イで述べたとおり長寿命化改修工事による長寿命化を実施し、目標耐用年数の最長 80 年に設定します。また、（2）ア計画的な修繕と更新による長寿命化を実施し、建物構造が鉄骨（S）、ブロックの建物は、目標耐用年数の代表値 60 年、軽量鉄骨（LS）、木造（W造）の建物は代表値 40 年を設定します。

なお、全ての構造においてライフサイクルコスト計算は、公共施設更新費用試算ソフト（総務省）の標準的更新年数の 60 年を使用しています。

目標耐用年数とライフサイクルコスト算定基準

建物構造	個別施設計画	標準的更新年数
鉄筋コンクリート（RC） 鉄骨鉄筋コンクリート SRC）	80 年	60 年
鉄骨（S）、ブロック	60 年	60 年
軽量鉄骨（LS）	40 年	60 年
木造（W 造）	40 年	60 年

(4) 単価・周期の設定

ア 建物部位・設備の修繕・更新、運用管理等

ライフサイクルコストにおける修繕や更新の標準単価及び周期は、「建築物のライフサイクルコスト（令和 5 年版：国土交通省）」で示されているデータに基づき設定します。ただし、単価は「建設工事費デフレーター（国土交通省）」に基づき補正しています。

また、建物や設備の状況等から修繕や更新のコストの周期を施設ごとに設定する場合もあります。

イ 建物更新・長寿命化改修単価

建物の更新（建替え）単価・長寿命化改修単価は、公共施設更新費用試算ソフト（総務省）で施設類型毎に示されている標準的な更新単価、大規模修繕単価（更新費用の 6 割）を使用しています。

ウ 運用管理コスト、解体コスト

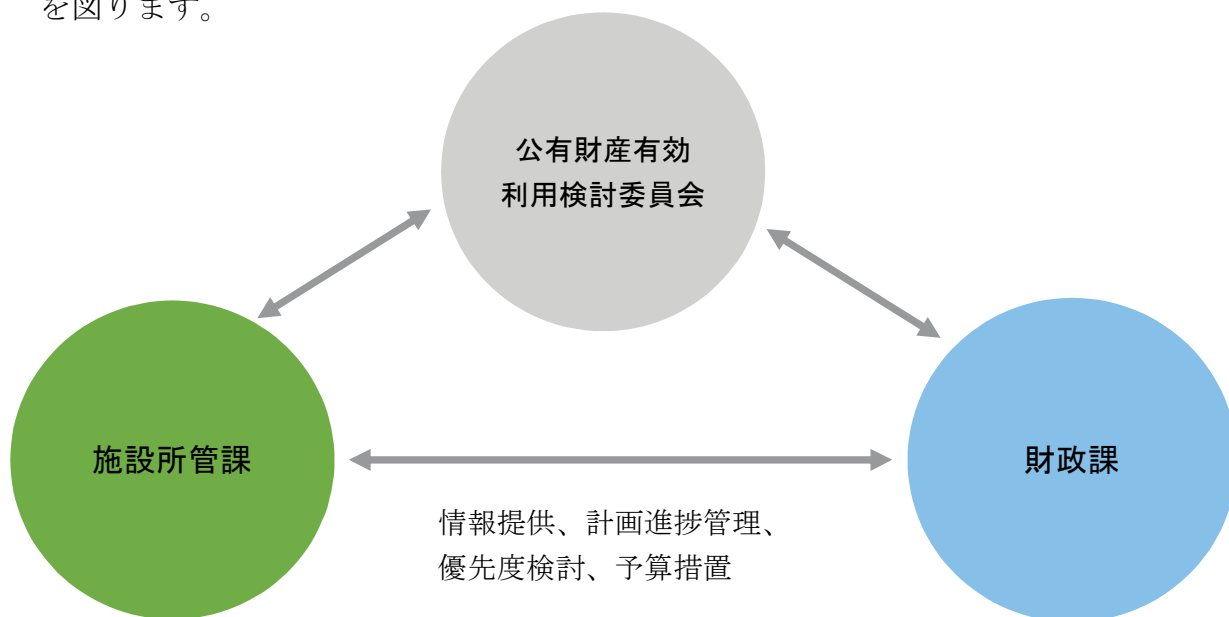
施設ごとの運用管理コスト（毎年度の定期点検保守・管理コストを含む）、解体コストの単価は、「建築物のライフサイクルコスト（令和 5 年版：国土交通省）」のモデル建物毎（小規模庁舎、中規模庁舎、大規模庁舎、住宅など）に示されている、運用コスト及び維持管理コスト、解体コストの単価を使用しています。

4 個別施設計画の継続的運用方針

(1) 推進体制等の整備

個別施設計画を確実に実行し、財政負担の軽減と平準化に繋げるため、総合管理計画で定める公共施設マネジメント推進体制に則り、公有財産有効利用検討委員会を通じて各施設の所管課と情報共有する中で一体的にマネジメントを行います。

また本個別施設計画は、菊川市総合計画等との整合を図るため、関係部署との連携を図ります。



(2) 個別施設計画の進捗管理について

前年度の実績を整備・維持・修繕計画に反映します。また、総合計画の実行計画(以下「実行計画」という。)と合わせて進捗管理します。

建物の新築、解体、統廃合等があり、個別施設計画の対象施設について見直しが必要となった場合は、固定資産台帳に基づいた情報を活用します。

また、個別施設の対策や整備・維持・修繕計画の大幅な見直し等があった場合には、関係部署と情報共有をしながら、適宜個別施設計画の見直しを図ります。

第3章 施設類型別の個別施設計画

1 個別施設計画による効果額の算定

個別施設計画による効果額は、今後の8年間について算定します。

効果額の算定は、公共施設更新費用試算ソフト（総務省）の標準的な大規模修繕（30年）や更新（60年）を行った場合の費用（以下、「単純更新」という。）と個別施設計画における計画的な修繕や更新等を行った場合のライフサイクルコストを比較することで算定します。

ただし、個別施設計画におけるライフサイクルコストの計算で用いた運用管理コストは、単純更新の費用には含まれないため、効果額算定においては、単純更新に運用管理コストを追加して効果額を算定します。

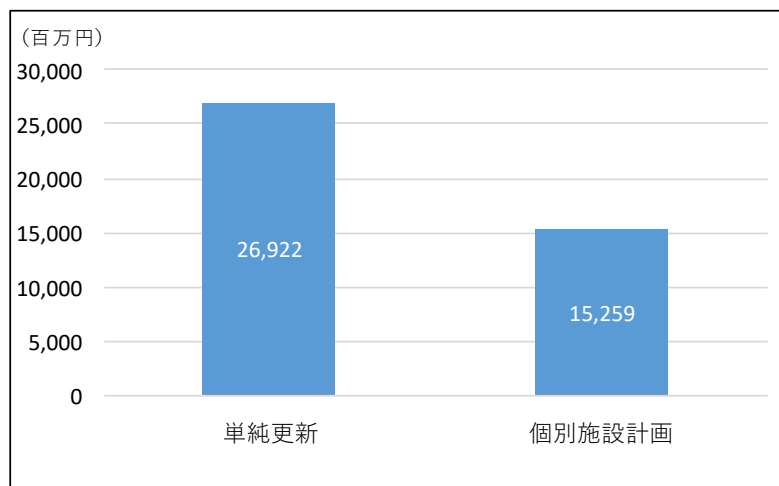
(1) 今後の8年間の効果額

令和8年度から令和15年度までの8年間は、単純更新費用が約269.2億円に対し、個別施設計画におけるライフサイクルコストが約152.6億円、効果額は公共施設全体で約116億円の削減です。

8年間の効果額

（単位：百万円）

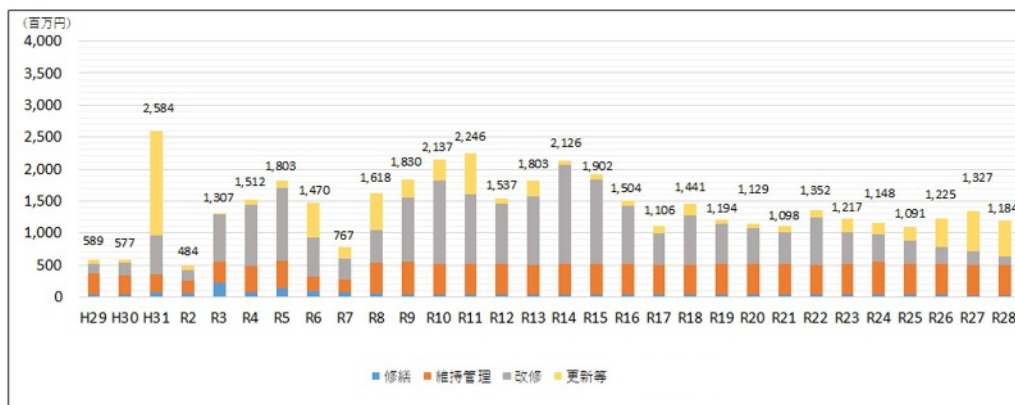
	単純更新	個別施設計画	効果額
普通会計	26,922	15,259	-11,663



(2) 30 年間の年度別コストの推移

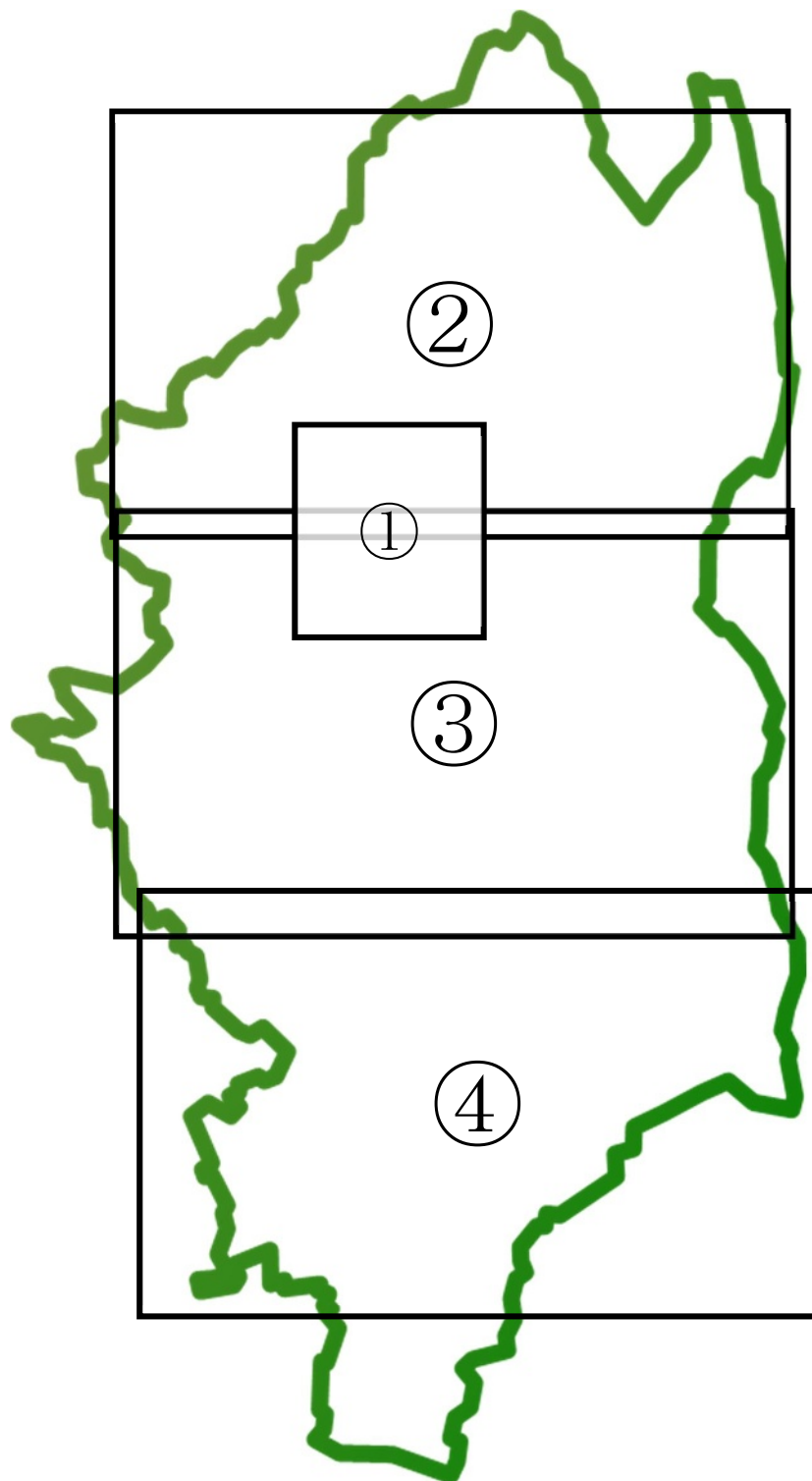
計画全期間である平成 29 年度から令和 28 年度までの 30 年間について、ライフサイクルコストは約 434.4 億円です。

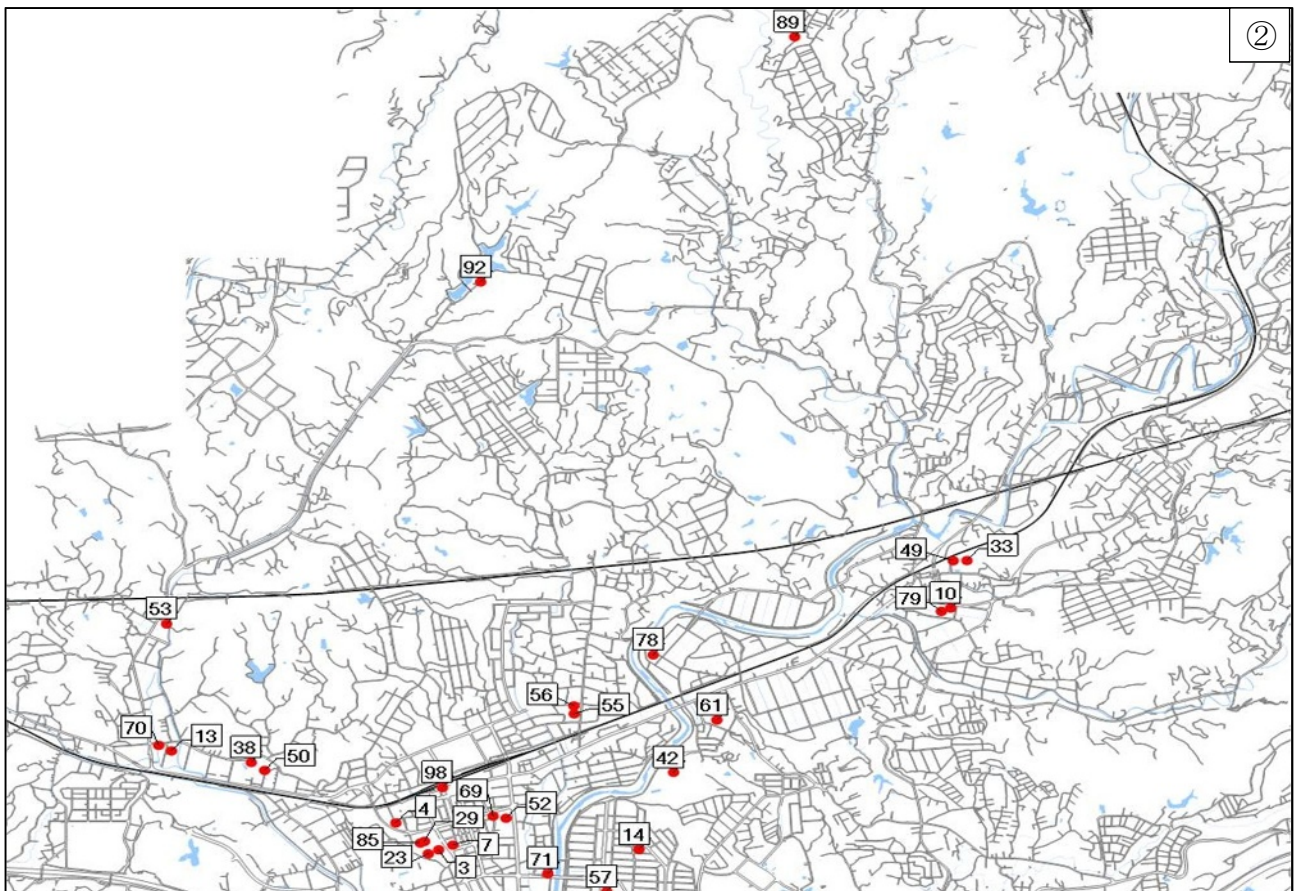
また、年度別では 20 億円を超える年度もあり、単年度事業費の平準化や公共施設の最適化に向けた一層の取組みによりコストの縮減を図る必要があります。

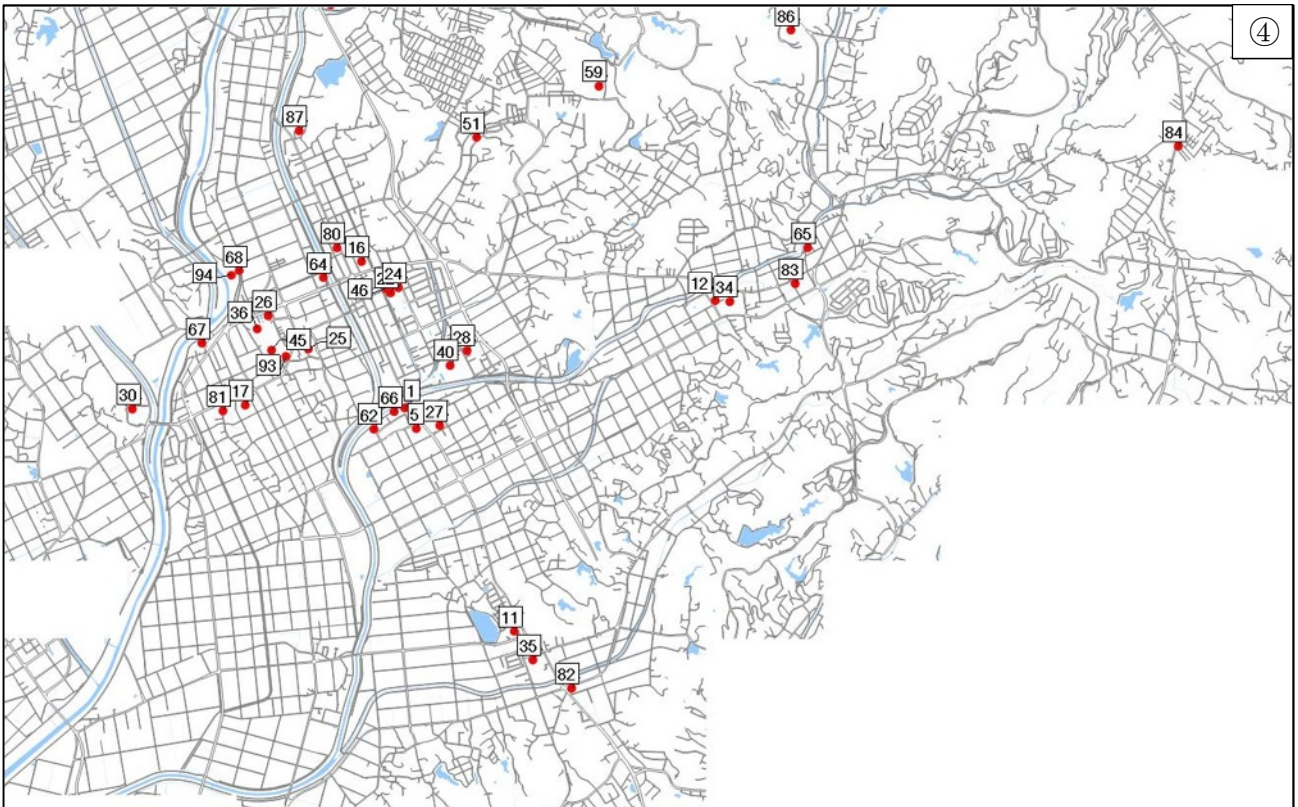
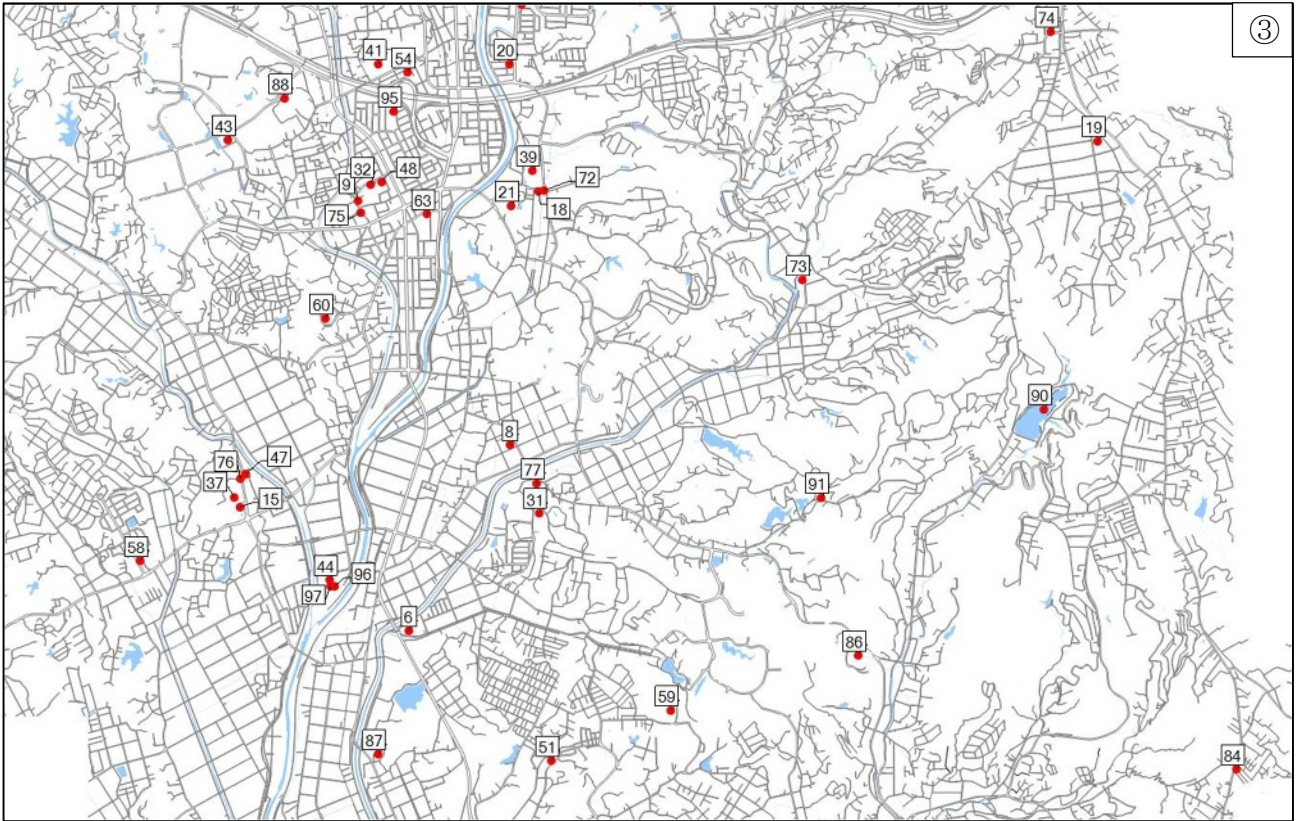


※令和 8 年度以降は一部の大規模事業を分割し、単年度事業費の平準化処理を行っています。

2 施設の配置状況







3 施設整備の水準等

「整備水準の設定項目例（学校施設の長寿命化計画策定に係る手引：平成 27 年 4 月 文部科学省）等」を参考に、各施設類型の整備（改修や維持管理）水準等を記載していますが、安全性（安全関係、災害対策）及び、環境性については以下とします。

なお、個別施設計画に記載の無い場合でも、市が定めるその他の計画において施設整備の水準については適切に対応するものとします。

安全性	
・	利用者の安全面に影響を与える可能性が有る場合は、迅速に対応します。
	菊川市国土強靱化地域計画（令和 3 年 2 月策定、令和 5 年 6 月一部改正）に基づき、同計画に定められたリスクシナリオを回避するため、関連施設は必要な対策を実施します。
環境性	
・	第 3 次菊川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、公共施設の地球温暖化防止に向けた取り組みとして、設備更新時はエネルギー使用量の少ない高効率機器の導入を検討します。

4 施設類型別の計画内容

施設類型別に個別施設の状況、課題、施設整備の基本的な方針、及び整備・維持・修繕計画を示します。

以降、各施設の情報や内容は令和 7 年 3 月末時点を基準とします。

整備・維持・修繕計画は、令和 8 年度から令和 10 年度は実行計画、令和 11 年度以降は財政見通しにおける事業と整合を考慮しています。

なお、作成時点における施設類型別の計画のため、今後の事情変更には柔軟かつ適切に対応します。

記載の体系

ア	個別施設の状況
イ	個別施設の課題
ウ	個別施設整備の基本的な方針等
エ	整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

対策の凡例

長寿命化	長寿命化を図り物理的耐用年数を目処に建物を使用し続けます。
建替え	個別施設計画の期間内に建物の建替えを検討します。
処分	譲渡や解体など何れかの手段により建物の処分を検討します。

(1) 行政系施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
1	旧小笠支所				3,142	長寿命化
		西館	RC	1970 (S45)	1,541	
		東館	RC	1984 (S59)	1,010	
		21 会議室 (渡り廊下部分)	RC	2001 (H13)	48	
		車庫	S	1972 (S47)	147	
		車庫	S	1972 (S47)	46	
		防災倉庫	S	1980 (S55)	289	
		機械室	S	1984 (S59)	37	
		機械室 (発電機)	S	2010 (H22)	24	
2	小笠支所	中央公民館 (増築分)	S	2016 (H28)	431	長寿命化
3	市役所本庁舎				6,044	長寿命化
		庁舎	RC	1982 (S57)	5,342	
		現業棟 西側	RC	1983 (S58)	582	
		現業棟 東側	RC	1983 (S58)	120	
4	菊川市菊川就業改善センター	—	RC	1974 (S49)	1,249	処分
5	菊川市小笠就業改善センター	—	RC	1975 (S50)	365	処分

No.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
6	消防本部				2,887	長寿命化
		庁舎棟	RC	2014 (H26)	2,049	
		車庫棟		2014 (H26)	670	
		本部棟		2014 (H26)	168	
7	市役所東館	※町部地区センター含む	S	2019 (H31)	1,669	長寿命化

イ 課題

- ◆ 旧小笠支所は、事務室や文書保管庫として利用していますが、築45年近く経過しており、老朽化が進んでいるため、計画的な改修を行う必要があります。
- ◆ 市役所本庁舎は、築40年近くを経過し、建築設備など老朽化が進んでいるため、計画的な改修を行う必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 小笠支所は、中央公民館と連携を図り長寿命化に努めます。
- ◆ 市役所本庁舎は環境改善におけるスペースの有効活用について機構改革のタイミング等に合わせて検討していきます。
- ◆ 菊川・小笠就業改善センターは、解体を検討していきます。

エ 整備・維持・修繕計画（令和15年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
1	旧小笠支所								
2	小笠支所 (中央公民館)								
3	菊川市役所本庁舎	自動ドア 更新工事	給水設備 改修工事	屋上防水 改修工事	屋上防水 改修工事	排水管改 修工事	排水管改 修工事		
4	菊川市菊川就業改 善センター								
5	菊川市小笠就業改 善センター								
6	菊川市消防本部								
7	菊川市役所東館								

(2) コミュニティ施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
8	横地地区センター	—	RC	1983 (S58)	427	長寿命化
9	加茂地区センター	—	RC	1981 (S56)	415	長寿命化
10	河城地区センター	—	RC	1982 (S57)	639	長寿命化
11	小笠南地区コミュニティセンター	—	RC	2008 (H20)	477	長寿命化
12	小笠東地区コミュニティセンター	—	S	2008 (H20)	569	長寿命化
13	西方地区センター	—	RC	1982 (S57)	461	長寿命化
14	青葉台コミュニティセンター	—	S	1993 (H5)	502	長寿命化
15	内田地区センター	—	S	2016 (H28)	500	長寿命化
16	平川コミュニティ防災センター	—	RC	2005 (H17)	476	長寿命化
17	嶺田地区コミュニティセンター	—	RC	2009 (H21)	490	長寿命化
18	六郷地区センター	—	S	2019 (H31)	553	長寿命化
19	牧之原農村婦人の家	—	S	1983 (S58)	382	長寿命化
20	旧六郷地区センター	—	RC	1979 (S54)	579	処分

イ 課題

- ◆ 内田、六郷を除く菊川地区の6地区センターは、築30年から40年が経過し、老朽化が進んでいます。
- ◆ 小笠地区の地区センターは、築10年以上が経過し、今後は、設備部品の故障などが予想され、中長期的な視点での計画的な修繕を実施する必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 新規整備の際は関係部署が連携して、施設の複合化等の検討も含めて、優先度や施設の在り方について協議します。
- ◆ 旧六郷地区センターは処分の検討をします。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
8	横地地区センター				※ 1	長寿命化改修工事 (屋上防水工事)	※ 2		
9	加茂地区センター	長寿命化改修工事 (屋上防水工事)			※ 1		※ 2		
10	河城地区センター				長寿命化改修工事 (屋上防水工事)	※ 1	※ 2		
11	小笠南地区コミュニティセンター				※ 1		※ 2		
12	小笠東地区コミュニティセンター				※ 1		※ 2		
13	西方地区センター		長寿命化改修工事 (屋上防水工事)		※ 1		※ 2		
14	青葉台コミュニティセンター				※ 2	※ 1	長寿命化改修工事 (屋上防水工事)		
15	内田地区センター								
16	平川コミュニティ防災センター				※ 2	※ 1			
17	嶺田地区コミュニティセンター				※ 2	※ 1			
18	六郷地区センター								
19	牧之原農村婦人の家			長寿命化改修工事 (屋上防水工事)	※ 2	※ 1			
20	旧六郷地区センター								

※ 1 照明 LED 化工事 ※ 2 トイレ洋式化工事

(3) 文化系施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
21	文化会館アエル	文化会館アエル	SRC	1991 (H3)	7,189	長寿命化
22	中央公民館				2,202	長寿命化
		公民館	RC	2001 (H13)	1,928	
		渡廊下	RC	2001 (H13)	42	
		受水槽棟	RC	2001 (H13)	86	
		キュービクル棟	RC	2001 (H13)	76	
		公用車車庫	RC	2001 (H13)	70	
23	菊川文庫	菊川文庫	RC	1985 (S60)	1,759	長寿命化
24	小笠図書館	小笠図書館	RC	2001 (H13)	1,279	長寿命化

イ 課題

- ◆ 文化会館アエルは築 35 年近くが経過しており、舞台装置や空調機器など各設備の改修や更新が必要となっています。緊急度に応じ、継続的・計画的な修繕を行っていますが、多くの費用を要します。
- ◆ 中央公民館は築 25 年近くが経過し、随所に経年劣化が見られるほか、空調機器などの更新の検討が必要な時期となっています。また、LED化も計画的に進めていく必要があります。
- ◆ 菊川文庫は築 40 年が経過し、中庭窓ガラスからの雨漏りなど随所に経年劣化が見られるほか、エレベーターなど更新の検討が必要となっています。
- ◆ 小笠図書館は築 25 年近くが経過し、随所に経年劣化が見られるほか、空調機器などの更新が必要となっています。
- ◆ 両図書館ともに開館から長期間が経過し、資料の配架スペースが不足しています。また、LED化も計画的に進めていく必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 文化会館アエルは長期修繕計画に基づき、計画的な施設の維持管理や更新、長寿命化を図るとともに、将来的なあり方についての検討をしていきます。
- ◆ 中央公民館は、小笠支所と連携を図り長寿命化に努めます。
- ◆ 菊川文庫と小笠図書館は、適切な維持管理を行い、長寿命化を図ります。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
21	菊川文化会館アエル	大ホール 舞台吊物 機構改修 工事	大ホール 舞台吊物 機構改修 工事			館内照明 LED 化工 事			
22	中央公民館	非常用発 電機蓄電 池交換工 事	照明 LED 化工事						
23	菊川文庫		照明機器 LED 化工 事		雨漏り修 繕工事				
24	小笠図書館		照明機器 LED 化工 事 空調設備 改修工事						

(4) 社会教育系施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
25	黒田家代官屋敷資料館				246	長寿命化
		資料館	S	1995 (H7)	195	
		公衆トイレ		1988 (H1)	51	
26	埋蔵文化財センター	—	S	1988 (H1)	912	長寿命化

イ 課題

◆ 黒田家代官屋敷資料館は、築 30 年が経過しています。現在のところ問題なく使用しているものの、設備等の修繕が必要です。
◆ 埋蔵文化財センターは、築 35 年が経過しています。現在のところ問題なく使用しているものの、設備等の修繕が必要になります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

◆ 黒田家代官屋敷資料館は、建物の点検等を行う中で将来の修繕計画の検討をしています。
◆ 埋蔵文化財センターは、設備等修繕計画の検討をしています。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
25	黒田家代官屋敷資料館	公衆トイレ洋式化		館内照明 LED 化工事					
26	埋蔵文化財センター		事務室照明 LED 化工事		施設内照明 LED 化工事				

(5) スポーツ・レクリエーション系施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
27	市民総合体育館	体育館	SRC	1981 (S56)	3,687	長寿命化
28	小笠体育館	体育館	RC	1986 (S61)	1,557	長寿命化
29	堀之内体育館	体育館	S	1975 (S50)	1,216	建替え (複合化)
30	小菊荘				1,901	長寿命化
		保養センター	S	1985 (S60)	1,070	
		福祉会館	S	1985 (S60)	561	
		その他	-	1990 (H2)	270	

イ 課題

- ◆ 市民総合体育館は築44年、堀之内体育館は築50年、小笠体育館は築39年が経過し老朽化が進んでいるため、改修が必要な箇所があります。
- ◆ 小菊荘は、増改築等を実施していますが、福祉会館部分については、築40年が経過し老朽化が進んでいるため改修が必要な箇所があります。また、館内のLED化も計画的に進めていく必要があります。
- ◆ 地球温暖化が進み、酷暑が近年多くなっていますが、体育館には空調設備がないため、計画的に空調設備の設置を進めていく必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ スポーツ振興基本計画においては施設の建替え、大規模改修、修繕・補修による維持など、施設改修等を計画していますが、スポーツ施設の役割、競技可能種目、利用者数、適正配置、規模等を考慮し施設の更新を含め、整備計画を作成していきます。
- ◆ 近隣市において冷暖房付の屋内運動場が増えていることから、体育館に空調設備の導入を検討していきます。
- ◆ 堀之内体育館については、災害対策本部棟との複合化による建替えを実施します。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
27	市民総合体育館								
28	小笠体育館								
29	堀之内体育館	改築工事	改築工事						
30	小菊荘		LED化改修工事	LED化改修工事	屋上防水工事	屋上防水工事			

(6) 教育・保育系施設

ア 個別施設の状況

a 小学校・中学校

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)	対策
31	横地小学校				3,088	長寿命化
		教室棟	RC	1976 (S51)	1,779	
		更衣室	S	2012 (H24)	479	
		体育館	RC	1981 (S56)	753	
		教室棟増築	S	2001 (H13)	77	
32	加茂小学校				5,847	長寿命化
		教室棟	RC	1972 (S47)	2,803	
		体育館	RC	1979 (S54)	773	
		管理棟	S	2006 (H18)	630	
		教室棟 南	RC	2020 (R2)	1,641	
33	河城小学校				4,065	長寿命化
		管理教室棟	RC	1965 (S40)	1,953	
		教室棟	RC	1983 (S58)	1,234	
		体育館	RC	1987 (S62)	878	

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)	対策
34	小笠東小学校				4,309	長寿命化
		校舎	RC	1979 (S54)	2,512	
		多目的教室	RC	1979 (S54)	438	
		コンピュータ室	RC	1998 (H10)	447	
		体育館	S	2008 (H20)	912	
35	小笠南小学校				3,875	長寿命化
		校舎	RC	1979 (S54)	2,491	
		多目的教室	RC	1988 (S63)	490	
		体育館	S	2010 (H22)	894	
36	小笠北小学校				5,777	長寿命化
		教室棟 北 A	RC	1978 (S53)	1,262	
		教室棟 北 B	RC	1978 (S53)	334	
		教室棟 南	RC	1978 (S53)	2,182	
		多目的教室	RC	1992 (H4)	353	
		コンピュータ室	RC	1997 (H9)	614	
		体育館	SR	2006 (H18)	1,032	

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
37	内田小学校				3,431	長寿命化
		教室棟	RC	1980 (S55)	1,794	
		管理室棟	RC	1980 (S55)	405	
		教室棟 増築	RC	1992 (H4)	338	
		体育館	S	2017 (H29)	894	
38	堀之内小学校				4,445	長寿命化
		校舎	RC	1979 (S54)	3,526	
		体育館	S	2011 (H23)	919	
39	六郷小学校				6,144	長寿命化
		管理教室棟	RC	1963 (S38)	1,256	
		教室棟	RC	1979 (S54)	2,234	
		昇降口棟	RC	1979 (S54)	260	
		教室棟東	RC	1988 (S63)	1,238	
		印刷室棟	RC	1988 (S63)	91	
		体育館	S	2016 (H28)	1,065	

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
40	岳洋中学校				6,573	長寿命化
		教室棟	RC	1983 (S58)	4,573	
		技術棟	S	1983 (S58)	663	
		体育館	S	2006 (H18)	1,337	
41	菊川西中学校				6,995	長寿命化
		管理教室棟	RC	1982 (S57)	2,195	
		教室棟	RC	1982 (S57)	2,162	
		昇降口棟	RC	1982 (S57)	512	
		西側通路棟	RC	1982 (S57)	467	
		技術棟	S	1982 (S57)	297	
		体育館・クラブハウス	RC	1983 (S58)	1,362	
42	菊川東中学校				6,654	長寿命化
		校舎	RC	1977 (S52)	1,437	
		教室棟 A	RC	1977 (S52)	1,399	
		技術棟	S	1977 (S52)	247	
		体育館	RC	1977 (S52)	1,089	
		教室棟 B	RC	1985 (S60)	1,103	
		教室棟 C	RC	1990 (H2)	1,379	

b 給食センター・認定こども園

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)	対策
43	給食センター				1,709	長寿命化
		給食センター	S	2001 (H13)	1,653	
		ボイラー棟	RC	2001 (H13)	45	
		機械棟	RC	2001 (H13)	11	
44	おおぞら認定こども園	園舎	S	2013 (H25)	2,254	処分（譲渡）
45	小笠北認定こども園	園舎	S	2024 (R6)	1,381	長寿命化

イ 課題

- ◆ 学校施設は経年劣化が進んでおり計画的に大規模改造事業を実施し、健全な義務教育施設の充実に向けた取り組みを引き続き行っていく必要があります。
- ◆ 少子化により、児童・生徒の数が減るため、これまでの配置・規模が適切かの検討が必要です。
- ◆ 給食センターは、建築後 20 年以上が経過し、厨房機器や冷暖房機器、給排水管などに経年劣化による故障の発生が多くなってきているため、緊急度に応じた修繕施工を行っており、今後も引き続き継続的な修繕が必要になります。
- ◆ おおぞら認定こども園は、令和 7 年度から公私連携幼保連携型認定こども園として民営化し、社会福祉法人が運営しています。施設は 2028 年度までを貸与期間としています。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 教育施設などの状況の変化や将来の教育環境のあり方、方向を検討し、それらを踏まえるなか、学校施設の維持管理、整備の計画を検討していきます。
- ◆ 小・中学校では建物及び設備全般は経年劣化が進んでいるため、必要となる整備に併せ、大規模改造事業を計画的に実施し校舎の長寿命化計画を推進していきます。
- ◆ 給食センターは、建物及び設備の経年劣化が進んでいるため、継続的な修繕を行っていきます。
- ◆ おおぞら認定こども園は、貸与期間である 2028 年度までは移管法人と連携して長寿命化を推進し、2028 年度中に移管法人へ譲渡する計画です。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

a 小学校・中学校

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
31	横地小学校		LED単費工事／特別教室空調工事		体育館空調工事				
32	加茂小学校		体育館空調工事						
33	河城小学校			体育館空調工事		LED・トイレ改修工事／特別教室空調工事			
34	小笠東小学校		LED単費工事	体育館空調工事	特別教室空調工事				
35	小笠南小学校		LED単費工事		体育館空調工事	特別教室空調工事			
36	小笠北小学校	体育館空調工事			特別教室空調工事	LED・トイレ改修工事			
37	内田小学校	特別教室空調工事			体育館空調工事				
38	堀之内小学校	特別教室空調工事				体育館空調工事			
39	六郷小学校	体育館空調工事	特別教室空調工事			LED・トイレ改修工事			
40	岳洋中学校		体育館空調工事／特別教室空調工事		LED・トイレ改修工事				
41	菊川西中学校			特別教室空調工事	LED・トイレ改修工事	体育館空調工事			
42	菊川東中学校			体育館空調工事／特別教室空調工事	LED・トイレ改修工事				

b 給食センター・認定こども園

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
43	給食センター								
44	おおぞら認定こども園			処分（譲渡）					
45	小笠北認定こども園								

(7) 子育て支援施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
46	小笠児童館	—	RC	2011 (H23)	440	長寿命化
47	内田放課後児童クラブ	(旧内田保育園)	S	1963 (S38)	795	処分
48	加茂放課後児童クラブ				234	長寿命化
		第1棟	W	2005 (H17)	120	
		第2棟	W	2019 (H31)	114	
49	河城放課後児童クラブ	—	W	2008 (H20)	93	長寿命化
50	堀之内放課後児童クラブ	—	W	2019 (H31)	331	長寿命化

イ 課題

- ◆ 放課後児童クラブは、建築後 15 年以上が経過する施設があり、経年劣化による故障などが生じた時点で修繕を実施しています。今後は、長寿命化を推進するため計画的な修繕を実施する必要があります。
- ◆ 小笠児童館は、建築後 10 年以上が経過しており、経年劣化による不具合が生じた時点で修繕を実施しています。今後は、照明の LED 化の対応や長寿命化を推進するため計画的な修繕を実施する必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 小笠児童館は、現時点では不具合が生じた時点でその都度対応していく方針ですが、今後経年劣化による損傷が増加した場合には、修繕計画を立て長寿命化を図ります。
- ◆ 放課後児童クラブは、不具合が生じた時点で修繕を実施していますが、修繕計画を立て長寿命化を計画的に推進していきます。なお、自治体によっては民間事業者による運営が行われており、民営化による施設管理を含めた事業運営も選択肢の一つと考えられます。
- ◆ 旧内田保育園舎は、放課後児童クラブとして活用しており、処分時期については検討します。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
46	小笠児童館								
47	旧内田保育園 （内田放課後 児童クラブ）								
48	加茂放課後児 童クラブ	エアコン 更新工事	LED 電気 工事	屋根外壁 補修工事					
49	河城放課後児 童クラブ					LED 電気 工事			
50	堀之内放課後 児童クラブ								

(8) 福祉系施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
51	協和会館	—	RC	1980 (S55)	237	長寿命化
52	総合保健福祉センター	—	RC	1999 (H11)	4,998	長寿命化
53	なかやまホーム	—	W	2006 (H18)	200	長寿命化
54	旧生きがい創造センター	—	W	1990 (H2)	204	長寿命化
55	旧東部デイサービスセンター	—	S	1998 (H10)	289	処分（譲渡）
56	東部ふれあいプラザ	—	S	2000 (H12)	54	長寿命化

イ 課題

- ◆ 協和会館は、築 45 年程度経過し老朽化しています。地区の人口は 100 人程で、高齢者の利用も多く、今後は利用者の減少が見込まれます。
- ◆ 総合保健福祉センターは建築から 26 年が経過し、電気設備や衛生設備などが老朽化し、経年劣化に伴う故障により、突発的な修繕が増加しています。
- ◆ 旧生きがい創造センターは建築から約 35 年を経過しており老朽化が見受けられます。
- ◆ 東部ふれあいプラザは建築から約 25 年を経過しており老朽化が見受けられます。付帯設備についても経年劣化に伴う故障により、突発的な修繕が増加しています。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 福祉系施設は長寿命化を図るための計画的な修繕を行います。
- ◆ 協和会館、東部ふれあいプラザは長寿命化の方針です。
- ◆ 総合保健福祉センターは老朽化が進んでいるため、計画的に修繕を行います。
- ◆ 旧生きがい創造センターは平成 29 年度に改修工事を実施しているため、今後も長寿命化を図る方針です。
- ◆ 旧東部デイサービスセンターは、施設の有効活用を図るため、民間事業者へ譲渡します。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
51	協和会館		照明 LED 化工事						
52	総合保健福祉センター	高圧受電設備更新工事	リモコン機器更新工事	リモコン機器更新工事					
53	なかやまホーム								
54	旧生きがい創造センター								
55	旧東部デイサービスセンター	譲渡							
56	東部ふれあいプラザ								

(9) 下水処理施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積(m ²)	対策
57	旧青葉台コミュニティプラント施設				838	処分
		管理棟	RC	1980(S55)	177	
		処理棟	RC	1980(S55)	661	
58	平尾コミュニティプラント施設	処理棟	RC	1995(H7)	681	長寿命化

イ 課題

- ◆ 平尾コミュニティプラント施設は、建築後 30 年程が経過しています。今後は照明設備等の付帯設備において計画的な修繕を行う必要があります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 旧青葉台コミュニティプラント施設は現在休止しており、跡地利用の検討を継続して行いながら、施設の処分を進めていきます。
- ◆ 平尾コミュニティプラント施設は、適切な修繕等を行い、長寿命化を図ります。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
57	旧青葉台コミュニティプラント施設								
58	平尾コミュニティプラント施設								

(10) ごみ処理施設

ア 個別施設の状況

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)	対策
59	環境保全センター				3,319	処分（一部長 寿命化）
		棚草浸出水処理施設	RC	1999 (H11)	696	（長寿命化）
		前処理施設	RC	1988 (S63)	350	
		三沢浸出水処理施設	RC	1987 (S62)	114	
		清掃工場	RC	1986 (S61)	1,598	
		管理棟	RC	1986 (S61)	401	
		車庫	RC	1986 (S61)	160	

イ 課題

◆ 環境保全センター及び三沢最終処分場関連の施設は、築 30 年以上を経過し老朽化が進んでいます。特に使用していない清掃工場については壁の崩壊や屋上防水シートの剥離が発生、煙突は大地震による倒壊が考えられ計画的な解体が必要になります。

ウ 施設整備の基本的な方針等

◆ 環境保全センターは、安全面の配慮から、建物は解体撤去し、跡地利用について検討していきます。
◆ 一般廃棄物処理の工程である最終処分は、新しい最終処分場の建設、又は外部への搬出などが考えられますが、コスト面も考慮しつつ棚草最終処分場の延命化も含めて検討します。

エ 整備・維持・修繕計画（令和 15 年度まで）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
59	環境保全センター	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕	汚水処理 施設維持 修繕

(11) その他施設

ア 個別施設の状況

a 市営住宅

NO.	施設名称	棟名	構造	建設年度	延床面積 (㎡)	対策
60	市営住宅 長池団地				4,111	長寿命化
		A棟	RC	1990 (H2)	865	
		B棟	RC	1990 (H2)	865	
		C棟	RC	1988 (S63)	865	
		D棟	RC	1988 (S63)	577	
		E棟	RC	1988 (S63)	577	
		C棟 物置 4棟	－	1988 (S63)	36	
		D棟 物置 2棟	－	1988 (S63)	21	
		E棟 物置 2棟	－	1988 (S63)	22	
		C棟自転車置場 2棟	－	1988 (S63)	26	
		D棟自転車置場 2棟	－	1988 (S63)	34	
		集会所	RC	1988 (S63)	70	
		倉庫 物置	－	1990 (H2)	65	
		自転車 置場	－	1990 (H2)	48	
		給水、プロパン庫	RC	1988 (S63)	40	

NO.	施設名称	棟名	構造	建設年度	延床面積 (㎡)	対策
61	市営住宅 上本所団地				10,754	長寿命化
		A棟	RC	1999 (H11)	1,791	
		B棟	RC	1995 (H7)	2,670	
		C棟	RC	1999 (H11)	1,954	
		D棟	RC	1998 (H10)	1,337	
		E棟	RC	1994 (H6)	2,673	
		自転車置き場	－	1994 (H6)	42	
		自転車置き場 4棟	－	1995 (H7)	42	
		自転車置き場 6棟	－	1999 (H11)	62	
		自転車置き場 2棟	－	1998 (H10)	21	
		給水施設	－	1994 (H6)	42	
		プロパン庫	－	1994 (H6)	19	
		集会所		1999 (H11)	101	
62	市営住宅 赤土団地				2,482	長寿命化
		市営住宅 赤土団地	RC	2003 (H15)	2,417	
		集会所		2003 (H15)	65	

b その他の小規模施設

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)	対策
	水防倉庫				219	長寿命化
63		加茂水防倉庫	LS	2004 (H16)	48	
64		堤水防倉庫	S	1988 (S63)	33	
65		川上水防倉庫	W	1952 (S27)	35	
66		赤土上水防倉庫	S	1993 (H5)	35	
67		嶺田水防倉庫	W	1955 (S30)	33	
68		青木前水防倉庫	S	2015 (H27)	35	
	消防団蔵置所				1,457	長寿命化
69		消防団堀之内分団 町部蔵置所	S	2015 (H27)	90	
70		消防団堀之内分団 西方蔵置所	S	1982 (S57)	103	
71		消防団六郷第一分 団蔵置所	S	1981 (S56)	80	
72		消防団六郷第二分 団下本所蔵置所	S	1989 (H1)	92	
73		消防団六郷第二分 団牛渕蔵置所	S	1989 (H1)	95	
74		消防団六郷第二分 団牧之原蔵置所	S	1987 (S62)	106	
75		消防団加茂分団蔵 置所	S	2017 (H29)	90	
76		消防団内田分団蔵 置所	S	2016 (H28)	89	
77		消防団横地分団蔵 置所	S	2019 (H31)	90	
78		消防団河城分団潮 海寺蔵置所	S	1994 (H6)	95	
79		消防団河城分団吉 沢蔵置所	S	1986 (S61)	92	

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
80		消防団小笠北分団 平川蔵置所	S	2016 (H28)	90	
81		消防団小笠北分団 嶺田蔵置所	S	2025 (R7)	90	
82		消防団小笠南分団 蔵置所	S	2014 (H26)	90	
83		消防団小笠東分団 川上蔵置所	S	1981 (S56)	82	建替え
84		消防団小笠東分団 布引原蔵置所	S	1991 (H3)	60	
85		機能別消防団蔵置 所	S	2017 (H29)	23	
86	丹野グラウンド				91	長寿命化
		管理棟	W	1979 (S54)	84	
		トイレ	-	1979 (S54)	7	
87	城山霊園（東屋）	—	W	1985 (S60)	16	長寿命化
88	井成山（東屋）	—	W	1988 (S63)	7	長寿命化
89	火剣山キャンプ 場				156	長寿命化
		東屋	W	1986 (S61)	19	
		バンガロー	W	1992 (H4)	55	
		管理棟		1992 (H4)	22	
		炊飯棟	-	1990 (H2)	26	
		公衆トイレ		1988 (S63)	30	
		遊歩道公衆トイレ		1990 (H2)	4	

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
90	丹野池				126	長寿命化
		トイレ	W	1997 (H9)	14	
		休憩小屋（西/南）		1998 (H10)	18	
		休憩小屋（六角形） 南		2000 (H12)	13	
		休憩小屋（東/南）		2000 (H12)	10	
		休憩小屋（東/北）		2000 (H12)	18	
		休憩小屋（西/北）		2000 (H12)	29	
		展望休憩小屋		2000 (H12)	24	
91	横地城跡				56	長寿命化
		トイレ	W	2015 (H27)	30	
		休憩所（千畳敷）		1984 (S59)	13	
		休憩所（下池）		1984 (S59)	13	
92	西方ふるさと公園	トイレ	W	1996 (H8)	4	長寿命化
93	塩の道公園				58	長寿命化
		トイレ	S	1996 (H8)	33	
		展望台・ポンプ室		1996 (H8)	25	
94	小笠グラウンド ゴルフ場	トイレ	S	2003 (H15)	27	長寿命化
95	招魂社	—	S	1960 (S35)	33	長寿命化
96	菊川下内田地区河川 防災ステーション	—	S	2020 (R2)	140	長寿命化

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)	対策
97	河川防災ステーション屋外トイレ	—	W	2020 (R2)	19	長寿命化
98	菊川駅前南側トイレ	—	S	2009 (H21)	34	長寿命化

イ 課題

- ◆ 市営住宅は、共同灯のLED化、給湯設備の機能向上、和室の洋室化等の対応が必要になります。
- ◆ 消防団蔵置所については、団員の数が減り、現在の配置が適切かの検討が必要です。

ウ 施設整備の基本的な方針等

- ◆ 市営住宅は、予防保全的な維持管理及び耐久性の向上等を図る改善を実施することにより、居住性の向上及び安全性の確保を図りつつ、長寿命化を推進します。
- ◆ 消防団蔵置所は、災害時の活動拠点となる機能を維持できるよう管理していきます。
- ◆ 主要な観光施設については、施設の更新も含め整備計画を立てていきます。
(No. 88-90, 92)

エ 整備・維持・修繕計画（令和15年度まで）

a 市営住宅

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
60	市営住宅 長池団地	共同灯 LED化工事	給湯器改 修工事 (A, B, C 棟)	給湯器改 修工 (D, E 棟)	電力幹線 改修工事			和室→洋 式化改善 工事	
61	市営住宅 上本所団地					電力幹線 改修工事	和室→ 洋式化改 善工事		
62	市営住宅 赤土団地								和室→洋 式化改善 工事

b その他の小規模施設（水防倉庫）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
63	加茂水防倉庫								
64	堤水防倉庫								
65	川上水防倉庫								
66	赤土上水防倉庫								
67	嶺田水防倉庫								
68	青木前水防倉庫								

b その他の小規模施設（消防団蔵置所）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
69	消防団堀之内分団町部蔵置所								
70	消防団堀之内分団西方蔵置所								
71	消防団六郷第一分団蔵置所								
72	消防団六郷第二分団下本所蔵置所								
73	消防団六郷第二分団牛湊蔵置所								
74	消防団六郷第二分団牧之原蔵置所								
75	消防団加茂分団蔵置所								
76	消防団内田分団蔵置所								
77	消防団横地分団蔵置所								
78	消防団河城分団潮海寺蔵置所								
79	消防団河城分団吉沢蔵置所								
80	消防団小笠北分団平川蔵置所								
81	消防団小笠北分団嶺田蔵置所	解体							
82	消防団小笠南分団蔵置所								
83	消防団小笠東分団川上蔵置所	更新工事	解体						
84	消防団小笠東分団布引原蔵置所								
85	機能別消防団蔵置所								

b その他の小規模施設（その他）

No.	施設名称	年度							
		R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
86	丹野グラウンド								
87	城山霊園								
88	井成山								
89	火剣山キャンプ場	浄化槽付け替え		炊事棟、東屋塗装			バンガロー、管理棟塗装		
90	丹野池								
91	横地城跡								
92	西方ふるさと公園								
93	塩の道公園								
94	小笠グラウンドゴルフ場								
95	招魂社								
96	菊川下内田地区河川防災ステーション								
97	河川防災ステーション屋外トイレ								
98	菊川駅前南側トイレ								

(参考)

個別施設計画の対象外である医療系施設、上下水道施設についてはこれ以降に課題・方針などを記載しています。

医療系施設

NO.	施設名称	棟名	構造	建築年度	延床面積 (㎡)
1	菊川市立総合病院				17,451
		本館	RC	1997 (H9)	17,072
		院内保育所	W	2008 (H20)	121
		化学療法棟	S	2015 (H27)	258
2	菊川市家庭医療センター	—	RC	1988 (S63)	1,487
3	医師住宅（宮下）	—	W	1975 (S50)	100
4	医師住宅（青葉台 A）	—	S	1981 (S56)	117
5	医師住宅（青葉台 B）	—	S	1982 (S57)	114
6	医師住宅（本所）	—	W	1982 (S57)	94
7	医師住宅（集合）	—	S	2003 (H15)	166

《現状・課題》

- ◆ 総合病院は、築20年以上を経過し、設備を中心に老朽化が進んでいます。
- ◆ 総合病院は、24時間稼働している施設であることや安全衛生面の管理から、設備更新や建物修繕においては施設の状況や時間的な制約が発生します。

《方針》

- ◆ 入院患者の転院を伴う大規模改修は困難な状況であるため、病院建物・設備長寿命化計画に基づき、計画的な修繕等により長寿命化を図ります

上下水道施設

NO.	施設名称	棟名	構造	建築 年度	延床面積 (㎡)
1	菊川浄化センター				3,759
		管理汚泥棟	RC	2004 (H16)	3,067
		最終沈殿池	RC	2004 (H16)	633
		塩素接触タンク	RC	2004 (H16)	59
2	公文名浄水場				968
		管理棟	RC	1996 (H8)	532
		薬液管理棟	RC	1996 (H8)	269
		水処理施設棟	RC	1996 (H8)	167
3	倉沢配水池	—	PC	1991 (H3)	429
4	潮海寺配水池	—	PC	1997 (H9)	390
5	牛渕配水池	—	PC	1987 (S62)	714
6	八王子配水池	—	PC	1972 (S47)	649
7	丹野配水池	—	SUS	2008 (H20)	376
8	小笠広域受水槽	—	PC	1984 (S59)	357
9	小笠配水池	—	PC	1998 (H10)	376
10	牧之原配水池	—	SUS	2001 (H13)	85
11	丹野原配水池	—	RC	1992 (H4)	140

《現状・課題》

- ◆ 各配水池施設は老朽化が進んでいくため、施設の点検・修繕に基づく適切な維持管理により、施設の長寿命化を図る必要があります。

《方針》

- ◆ 公文名浄水場は、適切な点検と修繕に努め施設能力維持を行います。
- ◆ 各配水池施設は、設備の老朽化の進行や、今後の水需要予測を考慮しながら、生活用水の安定供給を保つため、付帯設備において計画的な点検・修繕の実施や施設の統廃合の検討を行います。

菊川市公共施設個別施設計画

(令和 8 年〇月改訂)

菊川市 企画財政部 財政課

静岡県菊川市堀之内 61 番地

TEL : 0537-35-0919

FAX : 0537-35-2112